

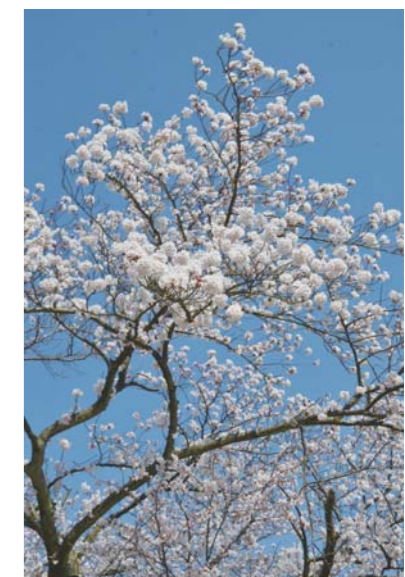


一般会計予算

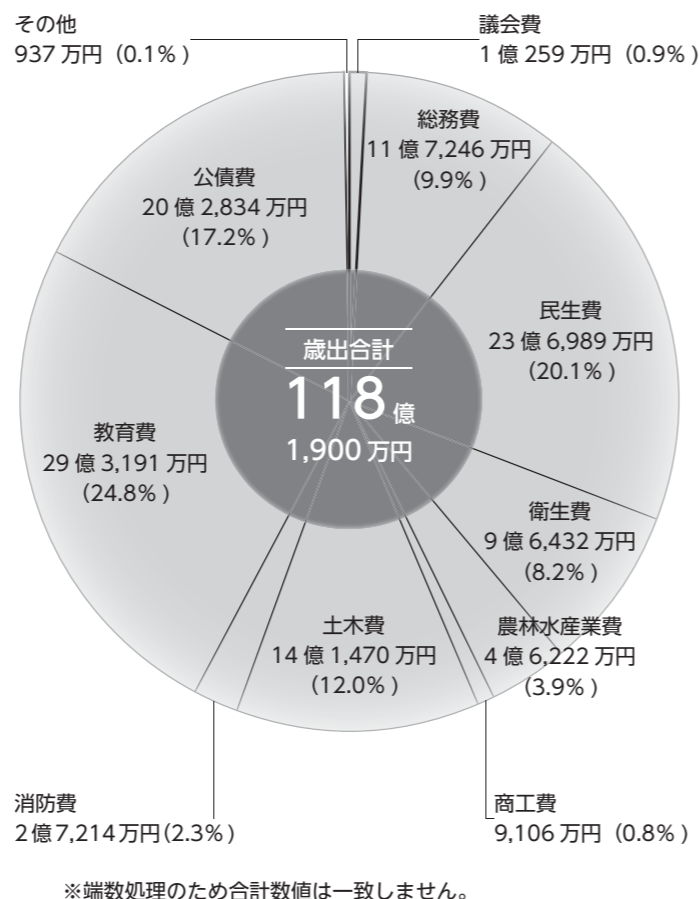
総額 118億 1,900万円

中能登町
平成26年度

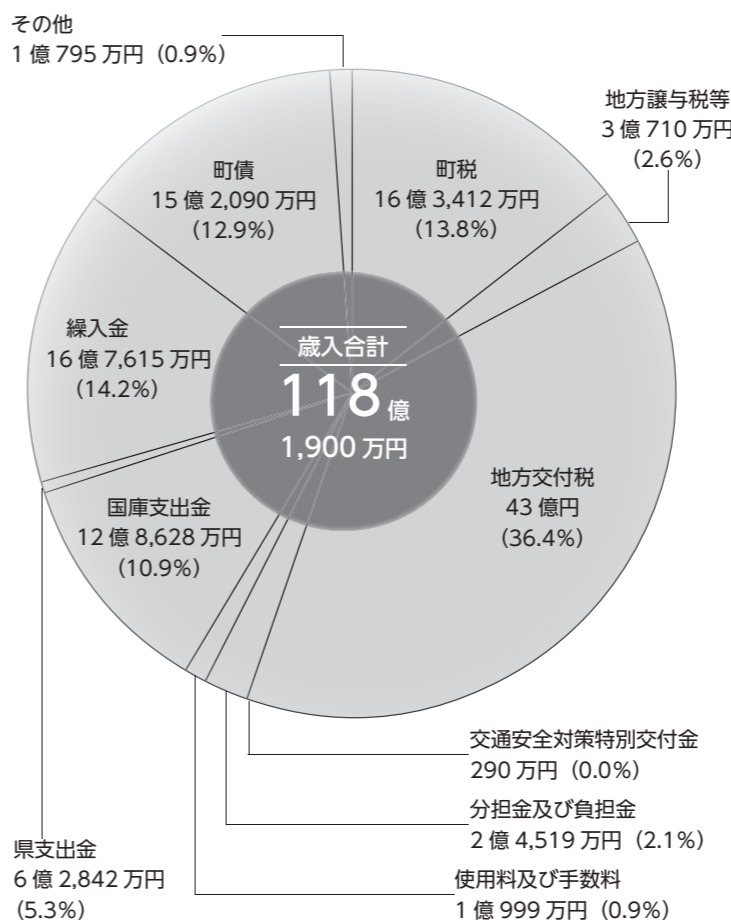
予算



一般会計 歳出



一般会計 歳入



●平成 26 年度 主な事業

事業名	予算額
統合小学校建設事業	15億 8,469万円
鹿島体育センター大規模改修工事	2億 9,530万円
道整備交付金事業 (道路)	2億 7,624万円
社会資本整備総合交付金事業 (道路)	2億 2,215万円
老朽管更新事業 (水道)	1億 5,300万円
鹿島体育センター耐震改修工事	1億 4,370万円
社会資本整備総合交付金事業 (下水道)	1億 4,049万円
臨時福祉給付金	1億 1,838万円
除雪対策費	6,439万円
定期予防接種	5,679万円
乳幼児、児童及び生徒養育医療費	5,339万円
県営土地改良事業 (ほ場整備等)	4,692万円
地籍調査事業	3,411万円
子育て世帯臨時特例給付金	3,280万円
出産祝い金	2,890万円
町祭開催費	2,108万円
定住促進奨励金	2,000万円
地域イントラネットシステム更新	2,753万円
道の駅指定管理	1,565万円
敬老祝い金	1,050万円

●平成 26 年度 特別会計予算

会計名	予算額
後期高齢者医療特別会計	2億 2,430万円
介護保険特別会計	21億 140万円
国民健康保険特別会計	20億 6,800万円
下水道事業特別会計	14億 7,370万円
分譲宅地造成事業特別会計	4,070万円
ケーブルテレビ事業特別会計	1億 230万円
水道事業会計 収益的支出	4億 4,532万円
水道事業会計 資本的支出	3億 8,840万円

5つの将来像である「にぎわいと活力あるまちづくり」、「健康でいきいきと暮らせるまちづくり」、「地域の風土を活かしたまちづくり」、「強い絆を育むまちづくり」、「学びを支えるまちづくり」を目標とし、歳入の確保及び公共施設の維持管理経費の更なる抑制に努め、個々の事業について不断に見直すとともに、「納税者」の視点を大切にし、行財政改革の歩を進め、町民の満足度を高めていくことを念頭に予算編成をいたしました。

平成26年度予算編成に当たっては、町の基本理念である「ふるさと ふれあい 心を育む 中能登町」をもとに、歳出では、中能登中学校、鹿島小学校、道の駅、パークゴルフ場、レクトピアパークなどの整備工事が進み、完了する中、役場庁舎の統合、公共施設の統廃合が今後の大きな課題となっております。

現在の国の景気動向は、「景気は、緩やかに回復している。」とされています。先行きについては、「輸出が持ち直しに向かい、各種政策の効果が下支えするなかで、家計所得や投資が増加し、景気の回復基調が続くことが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、消費税率引上げに伴う駆け込み需要及びその反動が見込まれる。」としています。

平成24年度決算における本町の財政状況を見ると、個人住民税の年少扶養控除の廃止による増収の一方、法人町民税が円高による製造業者の受注量の減による減収、また、固定資産税は評価替えによる減収となっております。更に、平成27年度からは普通交付税の合併算定替え措置の段階的廃止が控えており、歳入においては依然厳しい状況が続く見通しです。

歳出では、中能登中学校、鹿島小学校、道の駅、パークゴルフ場、レクトピアパークなどの整備工事が進み、完了する中、役場庁舎の統合、公共施設の統廃合が今後の大きな課題となっております。